

1 題材 感染症対策プロジェクトをしよう

2 指導計画（6時間完了）

- (1) 新型コロナウイルスについて調べよう・・・3時間（本時3／3）
- (2) 新型コロナウイルスについてまとめよう・・・2時間
- (3) 新型コロナウイルスについて伝えよう・・・1時間

3 本時の指導

(1) 目標

インターネットから得た新型コロナウイルスに関する情報と書籍の情報を比較して、自分の考えをもつことができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

インターネットから得た情報と書籍の情報を比較することで、情報の信ぴょう性を高め、新たな視点で情報を見つめ直すことができるようにする。

(3) 準備

タブレット型PC、書籍、ワークシート、マーカー（黄・緑・青・赤）

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
10分	1 インターネットから得た情報を書籍で確認することを伝える。	○ 前時までに調べた、インターネットから得た情報に、要素ごとに色分けしたマーカーが付いていることを確認する。
20分	2 インターネットから得た情報と書籍の情報を比較して考えたことを、ワークシートに記入する。	○ 書籍は教員が精選し、用意する。 ○ インターネットから得た情報と書籍の情報を比較することを通して、収集した情報の信ぴょう性をより高めるだけでなく、そこから新たな自分の考えをもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価事項</b></p> <p>新型コロナウイルスに関する情報について、インターネットから得た情報と書籍の情報を比較して、自分の考えをもつことができる。 【発言・ワークシートの記述内容】</p> <p>□… 各要素のマーカーを基にして、インターネットから得た情報の信ぴょう性を確かめるよう、声を掛ける。</p> <p>☆… インターネットと書籍との情報を比較してもった自分の考えが、どの情報のどの部分を使って考えたのか、根拠を明らかにしてワークシートに記述させる。</p> </div>		
15分	3 ワークシートに記入した自分の考えを小グループで話し合い、最終的な自分の考えを記入する。	○ 整理した情報から得た自分の考えを小グループで話し合わせ、最終的な自分の考えを記入させるようにする。

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動